



# 市立図書館の活動に大きな評価が！



長年にわたって図書館の仕事に携わってこられたその功績に対して、全国公共図書館協議会から功労賞を受けられました。

図書館まじりのプレイベントでは、館長に記念講演をしていただきました。

(講演内容は「かけはしVOL.30」に掲載してあります)

小林館長  
受賞おめでとう！  
いじょうまつー！

## 第100回全国図書館大会 (10月31日) に出席して

この大会は明治39年に当時の東京市神保町で第1回を開催してから本年まで幾多の困難な時期を乗り越えて百回目を迎えたこの事、この素晴らしい大会に出席できたのは小林館長さんが私たち図書館くらぶの活動を推薦して下さいからです。明治大学駿河台キャンパスが会場でした。

日本図書館協会理事長(森 茜氏)が日本の図書館の現状と、これから図書館が果たすべき課題等を提起されていたのでお伝えします。

- ① 図書館の設置率は町村が極度に少ないこと。
- ② 司書数についても96年に80%を超えていたが、この17年間で40%を切っていること、この事実を重く受け止め検討していかなければならない。
- ③ これからの図書館は読書、情報探索、憩いの場として市民生活の拠点となる、それゆえ多種多様なサービス活動の開発と展開が望まれること。
- ④ 図書館は自治体のあらゆる部門との連携を惜しんではならない。「異分野との連携協力」を積極的に行い「打って出る図書館」としての新しい活動の展開を「打って出ること」であった。

中津川中央図書館はまさにこの「打って出る図書館」としての歩みをすでに始めようと感じました。

それにも関わらず図書館の支援活動をする人の多いことに感動しました。

私たちもこれからの一層頑張らなければと思っています。

伊藤 恵子  
伊藤 勉

## なかつがわ 図書館くらぶは 第100回日本図書館協会全国大会で感謝状を授与されました！

(全国の図書館3234館のうち、今回表彰対象は103館で、岐阜県下で授与されたのはなかつがわ図書館くらぶ・羽島市立図書館友の会・かみふじせんの3件です。)

# ★ 第16回 図書館総合展 優秀賞に輝く! ★

★ 受賞された団体

★ 優秀賞：  
なかつがわ図書館くらぶ

★ 最優秀賞：十文字学園女子  
ライブラリーサポーター

★ 優秀賞：桃山学院大付属図書館

★ 特別賞：兵庫教育大付属図書館

11月5日～7日、神奈川県のパシフィコ横浜で行われた第16回図書館総合展ポスターセッションに参加しました。

連続参加3回目の今回は62団体参加、私たちは中津川市立図書館の、「過去・現在・未来」の三部構成にしてポスターで表現しました。

入場者数は三一、六〇〇人余で「かけはし」一、〇〇〇部を配布しました。ポスター前で、くらぶ員の話に耳を傾ける人たちや、質問する人たちも多数でした。

そして優秀賞に選ばれました!

図書館くらぶ会員の力が発揮できたと嬉しく思うとともに、小林館長さんはじめ、図書館の皆様へ感謝申し上げます。



この1年大変お世話になりました。  
くらぶ員募集中!一緒に楽しみませんか?  
会長 桑澤宏康 Tel.070-733-6600 02409

横浜図書館総合展フォーラムから  
首長が語る地方行政の現状と図書館への期待

3人の首長による講演(愛知県安城市市長、佐賀県伊万里市長、埼玉県鶴ヶ島市長)を傾聴したので概要を紹介する。ポイントは、

- ①まちづくりに関わる人たちの多くが図書館ボランティアであり誇れる図書館に心を共有しようという方向に意識が高まってきている。図書館の充実無くしてまちの発展はない!(安城市)
- ②図書館サービスを支える司書の育成や成長は市民への支援にも深くつながり、市長が考える政策についても担当部署への情報提供や課題解決などの支援を行う事で、より充実した行政サービスが可能になる。従って長期的な資料の構築や新しいサービスの提供なり、しっかりと図書館の力になってもらわなければならない。この観点からも指定管理者制度の導入は図書館には馴染まない。人口5万7千人、18人の司書でしっかりとやり、図書館フレンズ400名で支えて持続していく(伊万里市)
- ③人口7万人、高齢者率23.11%、図書館利用はここ5年間でマイナス17%、市費は民生費が2倍に伸びており図書館費用も減らす方向であり、従来と異なる方向を見出さない限り議会に説明がつかない。(鶴ヶ島市)

文責 桑澤 宏康